

## 第61期中間報告書

# KONDOTEC REPORT

平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日



私たちは地球温暖化防止国民運動、  
チャレンジ 25 キャンペーンに参加しています。

コンドーテックは地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チャレンジ 25」に加盟し、企業理念にあります「豊かな社会づくりに貢献します」を実践すべく環境問題に取り組んでおります。



コンドーテック株式会社

証券コード 7438

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに平成25年3月期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 菅原 昭

平成 24 年 11 月

## FINANCIAL HIGHLIGHT

## 決算ハイライト

### ● 当第2四半期の業績

平成 25 年 3 月 期 第 2 四 半 期  
連結累計期間の業績結果

**売上高** **19,674** 百万円  
(前年同期比 + 5.7%)

**営業利益** **1,151** 百万円  
(前年同期比 + 27.7%)

**経常利益** **1,194** 百万円  
(前年同期比 + 27.0%)

**四半期純利益** **699** 百万円  
(前年同期比 + 36.3%)

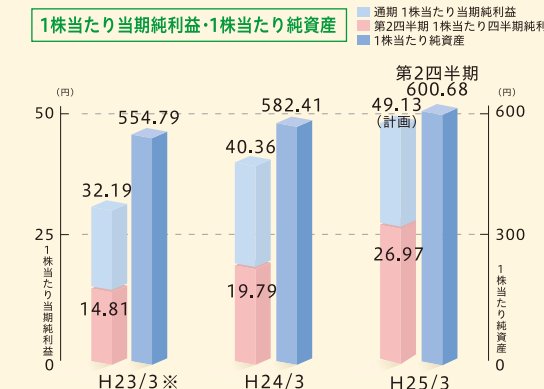
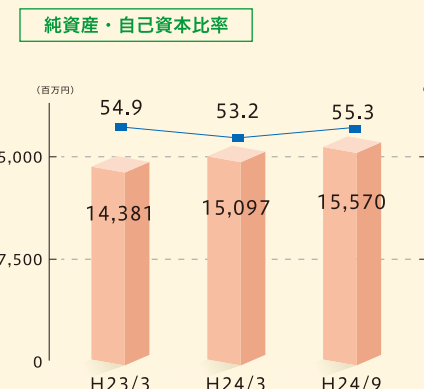
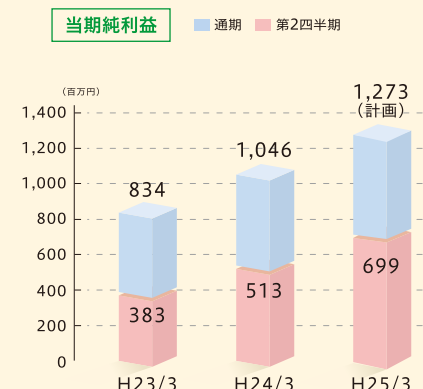
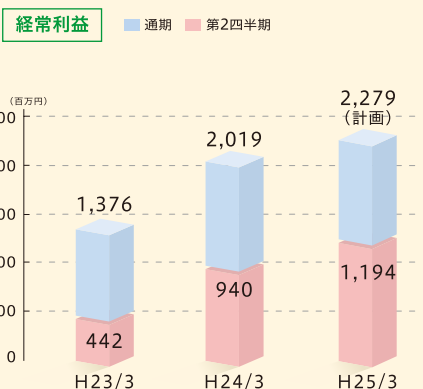
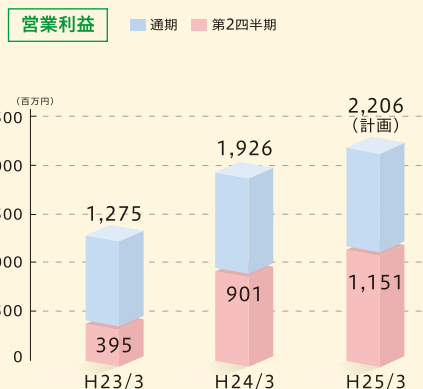
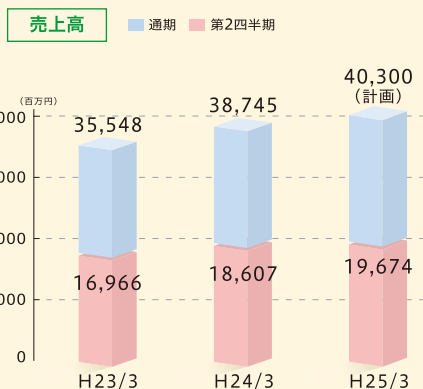
### 【連結経営成績】

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調にあったものの、欧州の債務危機に伴う海外経済の減速や円高の長期化など懸念すべき問題も多く、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、震災の復興を中心に公共投資の増加に加え、新設住宅着工戸数や設備投資も緩やかに持ち直してきております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図っております。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は 19,674 百万円(前年同期比 5.7%増)となりました。利益面につきましては、復興需要による売上増と売上総利益率の改善により、営業利益は 1,151 百万円(同 27.7%増)、経常利益は 1,194 百万円(同 27.0%増)、四半期純利益は 699 百万円(同 36.3%増)となりました。



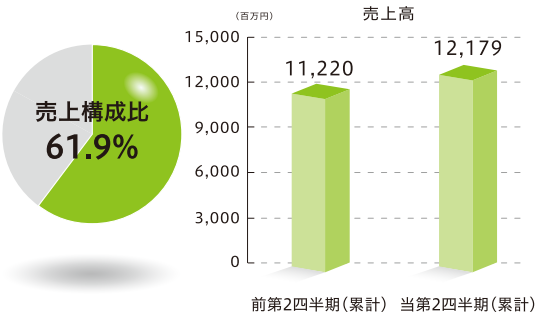
※ 平成 24 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行い、表示の 1 株当たり指標は遡及修正を行っております。

【セグメント別業績】

当第 2 四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりです。

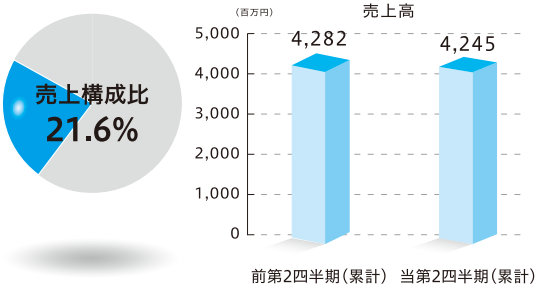
▶産業資材

土木・建築を始め、物流や船舶、電力、鉄道、営林、農園芸、環境、街路緑化、産業廃棄物関連などさまざまな業界に商材を供給しています当セグメントは、港湾・土木を中心に震災復興向け資材の受注や、仮設足場部材、機械・工具類の需要の高まりもあり、当セグメントの売上高は 12,179 百万円(前年同期比 8.5%増)となりました。



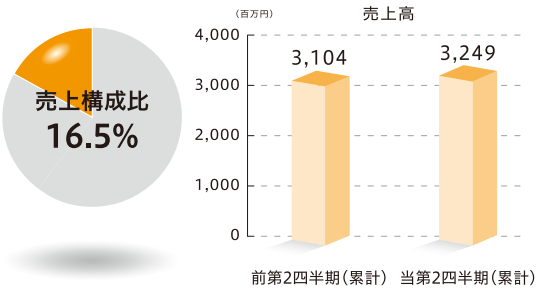
▶鉄構資材

推定鉄骨需要量は若干の回復基調で推移する状況で、前期の緊急仮設住宅向けのターンバックル・ブレースやその関連部材などの反動減が第 1 四半期ではあったものの、当第 2 四半期に入ると民間を主体とした建物の復興が始まり、また学校施設など耐震補強工事の需要の増加、物流倉庫や工場などの建築物の進展により、第 1 四半期の落ち込みを補い、最終的には当セグメントの売上高は 4,245 百万円（前年同期比 0.9%減）と小幅な減少に押しとどまりました。



▶電設資材

着工建築物及び設備投資需要は一部持ち直しの動きは見られるものの、依然として低水準で推移していますが、住宅関連需要及び太陽光発電などの省エネ・環境関連需要を積極的に取り込んだ結果、当セグメントの売上高は 3,249 百万円（前年同期比 4.7%増）となりました。



● 通期の見通し

平成 25 年 3 月期の連結業績予想

売上高 40,300 百万円  
(前期比 + 4.0%)

営業利益 2,206 百万円  
(前期比 + 14.5%)

経常利益 2,279 百万円  
(前期比 + 12.9%)

当期純利益 1,273 百万円  
(前期比 + 21.7%)

当社グループは受注競争、価格競争に耐えるようにコスト競争力を高め、自社製品・輸入商材・新商材の拡販と新規販売先の開拓の四つの重点施策を実行するとともに、連結子会社である三和電材株式会社との事業拡大を図ってまいります。

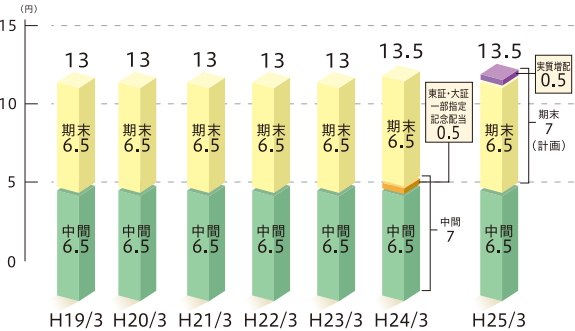
● 配当金

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な施策として位置づけ、「収益の向上」、「企業価値の増大」を図りながら、配当性向を勘案し、安定配当を目指すことを基本方針としております。

この方針のもと、平成 25 年 3 月期の中間配当金は 1 株につき 6 円 50 銭といたします。

- 1. 中間配当金 1 株につき 6 円 50 銭
- 2. 支払開始日 平成 24 年 11 月 27 日(火)

1株当たり配当金



(注) 当社は平成 24 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、適及修正を行っております。



## TOPIC 1 日経IRフェアへ出展

平成24年8月31日～9月1日に東京ビッグサイトにて開催されました個人投資家向けのIRフェア「日経IRフェア2012」に出展いたしました。

2日間の開催の入場者数は累計約14,000名で、その内、約800名の方々に当社ブースへ足を運んでいただきました。

今後も個人投資家の皆様との対話を継続的に実施していくことで、より一層の企業価値向上に努めてまいります。



## TOPIC 2 びわ湖環境ビジネスメッセ2012へ出展

平成24年10月24日～26日に滋賀県立長浜ドームにて開催されました日本最大級の環境産業総合見本市である「びわ湖環境ビジネスメッセ2012」に出展いたしました。

3日間の開催で約900名の方々に当社ブースへ足を運んでいただき、当社の新商品「透水」「排水」「防滑」「吸音」の機能がある新素材バインダ(接着剤)「コンドーファインファイバー」をご紹介しました。



## TOPIC 3 仙台支店新社屋完成、新規事業東北営業所・子会社三和電材株式会社仙台営業所開設

東日本大震災の復興需要への対応として、平成24年7月に仙台支店社屋の横に新社屋(延べ床面積 918㎡)を増築し、在庫拡充を図るとともに、10月には新規事業東北営業所及び子会社三和電材仙台営業所を開設いたしました。

当社グループでは、今後も、被災地の本格的な復興に積極的に貢献し、被災者の方々の一日も早い生活の再生を全力を挙げて支援してまいります。



当社では、さまざまな場面で使用されます、およそ40,000点の製・商品を取り扱っております。その中の一部のアイテムをピックアップし、ご紹介いたします。

### ●吊り具

#### ～安全な吊り作業の必需品～

建設土木・港湾荷役作業には、荷物を吊って運搬することが欠かせません。その際にフックやリングなどの吊り具が使用されます。

この吊り具を使用する作業は、「吊り方」や「吊り具の種類」などを誤ると重大な事故となる危険な作業です。

当社では、多種多様の吊り具を取り扱い、「作業内容」や「作業条件」に合った、吊り具の提案・販売を行っております。



#### ○安心・安全 コンドーテック製の吊り具

当社工場にて製造している「フック」「リング」は、素材の強みを最大限に引き出す「型打鍛造※」を用いて製造しております。

また、製造時に製品を抜き取り、使用荷重の2倍以上の負荷をかけ、永久変形が0.25%以内であることを確認しております。

当社では、お客様に安心してご使用して頂けるよう、厳しい基準をクリアした安心・安全な「フック」「リング」の製造・販売を行っております。

※型打鍛造とは・・・

約1,200℃まで加熱した鋼材を、圧縮空気によって急速度でプレスする製造法です。



鍛造フック



鍛造リング

#### ○チェーンスリング

「チェーンスリング」は、重量物を吊り上げるときに使用いたします。



チェーンスリング  
(ペワグ社(オーストリア)製)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)	増 減
■資産の部			
流動資産	18,338	18,528	△ 189
① 現金・預金	2,999	2,790	209
② 受取手形・売掛金	10,977	11,214	△ 236
たな卸資産	2,543	2,670	△ 126
③ 信託受益権	1,337	1,376	△ 39
その他の流動資産	528	538	△ 9
貸倒引当金	△ 48	△ 61	13
固定資産	9,826	9,874	△ 48
有形固定資産	8,503	8,425	78
④ 建物・構築物	2,175	2,094	80
機械装置・運搬具	476	506	△ 30
土地	5,752	5,752	△ 0
その他の有形固定資産	99	72	27
無形固定資産	330	378	△ 48
ソフトウェア	148	166	△ 17
のれん	153	183	△ 30
その他の無形固定資産	28	28	△ 0
投資その他の資産	992	1,070	△ 78
投資有価証券	564	634	△ 69
その他の投資等	517	545	△ 28
貸倒引当金	△ 90	△ 109	19
資産合計	28,164	28,403	△ 238

Point ① 現金・預金

現金・預金につきましては、次ページの「連結キャッシュ・フロー計算書」をご参照下さい。

Point ② 受取手形・売掛金

期末日満期手形が、当第2四半期末には458百万円、前期末には568百万円含まれております。

Point ③ 信託受益権

資金運用の一環として、当社の一括支払信託にかかる信託受益権の取得を行っております。これにより、連結損益計算書の受取利息配当金が前年同期比増加しております。

(単位:百万円)			
科 目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)	増 減
■負債の部			
流動負債	10,874	11,551	△ 676
支払手形・買掛金	4,777	5,098	△ 320
⑤ 短期借入金	500	700	△ 200
未払金	4,115	4,009	106
未払法人税等	440	591	△ 151
その他の流動負債	1,041	1,151	△ 109
固定負債	1,718	1,754	△ 35
退職給付引当金	1,166	1,197	△ 31
その他の固定負債	552	557	△ 4
負債合計	12,593	13,305	△ 712
■純資産の部			
株主資本	16,781	16,250	530
資本金	2,328	2,328	—
資本剰余金	2,096	2,096	—
⑥ 利益剰余金	12,855	12,325	530
自己株式	△ 498	△ 498	△ 0
その他の包括利益累計額	△ 1,210	△ 1,153	△ 56
その他有価証券評価差額金	332	377	△ 45
繰延ヘッジ損益	△ 3	8	△ 11
土地再評価差額金	△ 1,539	△ 1,539	—
純資産合計	15,570	15,097	473
負債・純資産合計	28,164	28,403	△ 238

Point ④ 建物・構築物

平成24年7月に仙台支店の新築工事が完了し、営業を開始しております。

Point ⑤ 短期借入金

連結子会社において、短期借入金の返済を行っております。  
当社は無借金体制を継続しております。

Point ⑥ 利益剰余金

四半期純利益の増加に伴い、繰越利益剰余金が増加しました。

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	当第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	増 減
⑦ 売上高	19,674	18,607	1,067
売上原価	15,351	14,603	747
売上総利益	4,323	4,003	319
販売費及び一般管理費	3,171	3,102	69
⑧ 営業利益	1,151	901	250
営業外収益	77	78	△ 0
受取利息配当金	7	3	3
仕入割引	58	55	2
その他の営業外収益	12	18	△ 6
営業外費用	34	39	△ 4
支払利息	1	1	△ 0
売上割引	25	24	0
その他の営業外費用	7	13	△ 5
経常利益	1,194	940	254
特別利益	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
特別損失	6	1	5
固定資産除売却損	6	1	5
税金等調整前四半期純利益	1,187	939	248
法人税・住民税及び事業税	424	433	△ 8
法人税等調整額	64	△ 7	71
少数株主損益調整前四半期純利益	699	513	186
四半期純利益	699	513	186

Point ⑦ 売上高

震災復興向け資材の受注や、学校施設など耐震補強工事の需要の増加、物流倉庫や工場などの建築物の進展、住宅関連需要及び太陽光発電などの省エネ・環境関連需要を積極的に取込んだ結果、前年同期比5.7%増となりました。

Point ⑧ 営業利益

販売費及び一般管理費の増加はありましたが、復興需要による売上増と売上総利益率が0.5ポイント改善したことにより、前年同期比27.7%増となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期(累計) (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
⑨ 営業活動による キャッシュ・フロー	822	352
⑩ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 242	△ 1,228
⑪ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 368	△ 418
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 2	0
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	209	△ 1,294
現金及び現金同等物の 期首残高	2,790	3,396
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,999	2,102

現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は2,999百万円となりました。  
主な要因は次のとおりです。

Point ⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の減少等はありませんでしたが、税金等調整前四半期純利益の計上などの増加要因により、822百万円の収入となりました。

Point ⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー

信託受益権の償還による1,767百万円の収入がありました。また、信託受益権の取得1,728百万円による支出などがあり、242百万円の支出となりました。

Point ⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済及び配当金の支払い等により368百万円の支出となりました。



- ▶ 社 名           コンドーテック株式会社  
                  (英文名 KONDOTEC INC.)
- ▶ 本 社           大阪市西区境川二丁目 2 番 90 号
- ▶ 設 立           昭和 28 年 1 月 14 日
- ▶ 資 本 金       23 億 2,810 万円
- ▶ 従 業 員       554 名 (連結 657 名)
- ▶ 連結子会社   三和電材株式会社
- ▶ 役 員
- |             |         |
|-------------|---------|
| 代表取締役社長     | 菅 原 昭   |
| 専務取締役       | 安 藤 朋 也 |
| 常務取締役       | 平 田 茂   |
| 常務取締役       | 滝 水 莞 爾 |
| 取締役         | 近 藤 勝 彦 |
| 取締役         | 山 田 清   |
| 取締役         | 宮 晴 夫   |
| 取締役         | 矢 野 雅 彦 |
| 取締役 (社外取締役) | 徳 田 勝   |
| 常勤監査役       | 河 瀬 哲 夫 |
| 監査役 (社外監査役) | 北 山 諒 一 |
| 監査役 (社外監査役) | 村 辻 義 信 |
- ▶ 主要な事業内容
- 当社グループは、土木用・建設用・荷役用・船舶用金物、鋼材、溶接資材、鋸螺及び電設資材の製造販売並びに輸出入を主な事業としております。

## 主な製品・商品 | The main product and commodity

## 産業資材

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、各種チェーン、コンテナバッグ、ブルーシート、土のう袋、物流荷役機器、木造住宅金物、型枠部材、仮設足場、現場用品、船舶・港湾関連資材、鉄鋼二次製品、環境関連資材、街路・緑化関連資材、鉄道関連資材 他



## 鉄構資材

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、溶接・塗装資材、機械工具、施工工事 他



## 電設資材

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他

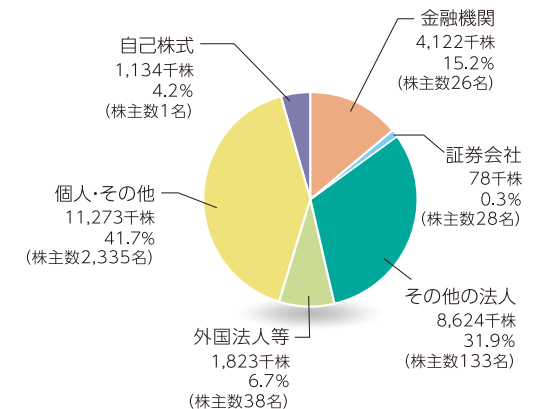


- ▶ 発行可能株式総数       60,000,000 株
- ▶ 発行済株式総数       27,057,000 株
- ▶ 株主数               2,561 名
- ▶ 単元株式数           100 株
- ▶ 大株主

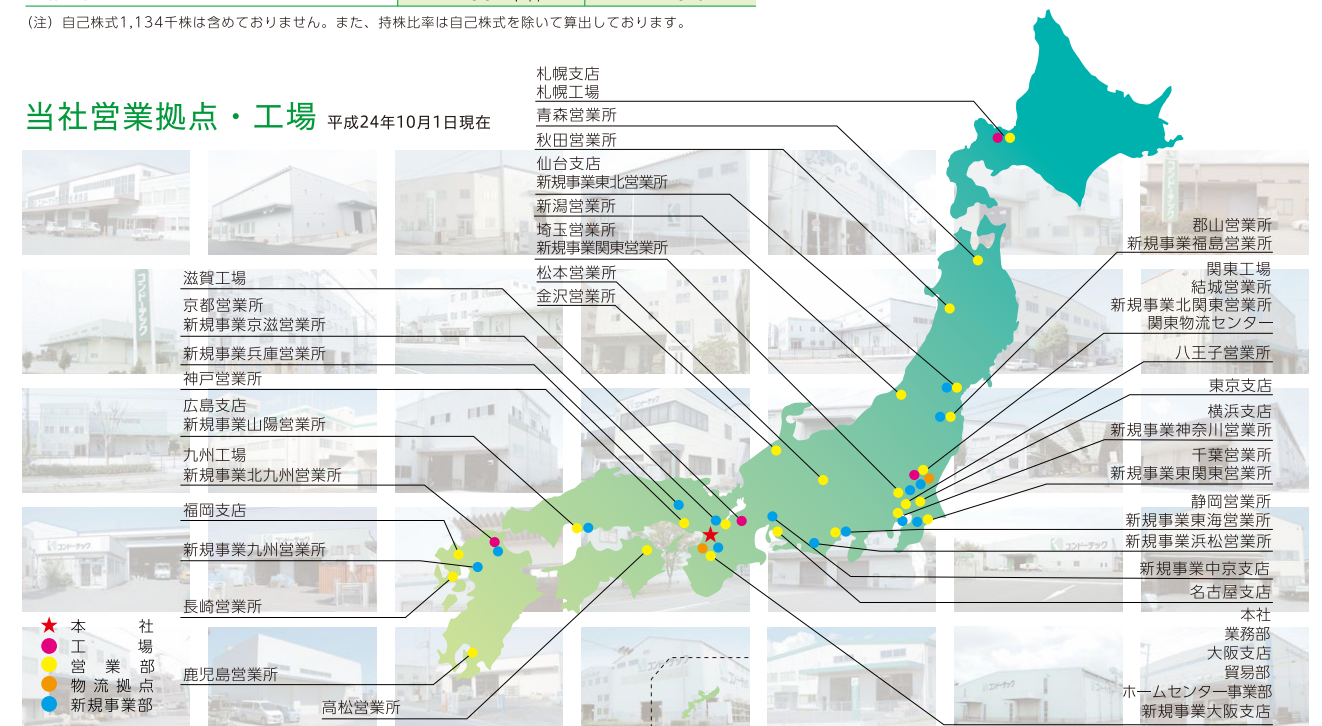
株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	3,014千株	11.6%
ビービーエフ・フタタニ・プライズストック・ファブ(アジアン・ビル・オール・セクター・サブ・インフラ)	1,625千株	6.3%
コンドーテック社員持株会	1,463千株	5.6%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,247千株	4.8%
株式会社Fプランニング	900千株	3.5%
近藤 純位	802千株	3.1%
株式会社三菱東京UFJ銀行	753千株	2.9%
近藤 勝彦	749千株	2.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	703千株	2.7%
近藤 雅英	664千株	2.6%

(注) 自己株式1,134千株は含めておりません。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 当社営業拠点・工場 平成24年10月1日現在



タイ駐在員事務所(Kondotec Inc.Representative office in Thailand)  
連結子会社 三和電材株式会社(本社 名古屋市中区) 営業所 14ヶ所

## ● コンドーテックホームページのご案内

個人投資家の皆様へ当社をご理解いただくための当社の事業内容や強みをご紹介します「なるほど！！コンドーテック」をはじめ、会社説明会動画、決算ハイライト、開示資料、CSR、取扱製品・商品などさまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索



## ● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会／毎年3月31日 期末配当金／毎年3月31日 中間配当金／毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

### [株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

#### 証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行  
本店及び全国各支店でお支払いいたします。

#### 特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777（通話料無料）
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



**コンドーテック株式会社**

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号  
TEL 06-6582-8441 [kikaku@kondotec.co.jp](mailto:kikaku@kondotec.co.jp)

2012年11月発行

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。  
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。



環境に配慮した植物油インキを  
使用しています。

**UD FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。